

## 株式会社ははへ出資のお願い

私たちは、放射線被害の実態を知ろうと2015年9月「乳歯保存ネットワーク」を立ち上げ、乳歯の保存を呼びかけてきました。「乳歯保存」の呼びかけと乳歯におけるSr-90の測定所づくりは、子どもの放射線内部被曝の実態を解明し、被曝から子どもたちを守り、これ以上被曝させないという私たちの願いによるものです。

この間、200本を超える子どもの乳歯検査をスイスで実施しました。その結果、検体からSr-90が検出されました。これらの歯に蓄積されたSr-90は、3.11大惨事以前に自然生態系を汚染した大気圏内核実験などによるものです。3.11大惨事が放出したSr-90がこれに加わりました。これら人工の放射性物質によって、最も大きな健康被害を受けるのは、胎児と成長期の子どもたちです。この現実を前にして、測定所開設を実現するために、2017年2月「株式会社はは」を設立しました。7月から始めた株式募集で暮れまでに2,081万円の出資金と1,279,000円の寄付金が集まり、測定機器の購入が実現するなど、開設に向けての歩みを進めています。

測定所開設と運営には、更なるみなさまのご支援、3,000万円が必要です。「はは概要書」と資料をご一読いただきますようご案内させていただきます。「株式会社はは」に対するご出資をご検討いただければ幸いです。

代表取締役

松井 英介

2018年3月吉日

### ご出資のご案内

- 出 資：1人最小1万円(最大100万円)。  
申し込み期限：2018年6月30日。  
申し込み方法：同封葉書にご記入の上ご投函下さい。

### 「株式会社はは」の要点

- 1. 「株式会社はは」**は、子どもの乳歯中のSr-90の個別測定を目的とする会社です。既に200検体以上のSr-90の検査をスイスのバーゼル州立研究所に委託しました。検体からはSr-90が検出されました。予防原則に則り、内部被曝の実態を捉え、子どもたちの健康といのちを守ることが必要です。
- 2. 福島第一原発事故による人工放射性物質の降下量比較：**  
福島第一原発事故によって、大量の人工放射性物質が、主に関東と東北に降下しました。その量は、添付の概要書(16と17ページ)にある通り、想像を絶するものです。降下量は、大気圏内核実験或いはチェルノブイリ原発事故の約1000倍です。広島・長崎原爆の約10,000倍です。(出典：気象研究所 Sr-90 and Cs-137 deposition Meteorological Research Institute, 2013)
- 3. 内部被曝の危険性：**  
外部被曝は一過性です。しかし、内部被曝は、体内に蓄積した人工放射性物質によって、われわれの体の細胞などを休むことなく破壊します。中でもSr-90は、骨や歯に蓄積して、ほぼ一生、排出されません。もっとも深刻な健康影響は、造血組織である骨髄の障害です。
- 4. B corporation**  
非営利未来型「株式会社はは」は、米国のB corporationを模範としています。私たちは全てを優先して、事業目的である乳歯中のSr-90の個別検査の実施に傾注します。したがって、配当は、子どもの笑顔です。ちなみに、株主と経営者の最大利益を目的とする会社(C corporation)とは、根本的に違うものです。